

10. おはなしバスと民話のまつり交流事業

グループ名 鹿沼民話の会
代表者 荻原 順子

① 活動の目的

鹿沼にのこる昔話や日本の民話を語り伝えることで、生き抜く知恵や他人を思いやる優しい心を育て、高齢者と児童生徒が民話を通じて交流することを目的とする。

② 活動概要

○民話おはなしバス事業

2018年12月9日〈日〉午前9:00集合～午後5:00解散

鹿沼市から那須烏山市、茂木町へおはなしバスを実施。

参加人数：33名

バス中の移動時間は鹿沼の民話を語りました。

バスの中で語った民話

- ・山菅の蛇橋
- ・はしか和尚
- ・坊主狐
- ・泣き相撲
- ・さつき地蔵
- ・黄ぶな物語
- ・与作稲荷
- ・雪姫紅葉姫
- ・そうめん地蔵

那須烏山市で語られた民話

- 〈烏山にまつわる民話〉
- ・蛇姫伝説
 - ・八咫烏のはなし
 - ・よあるき地蔵
 - ・かわうその恩返し
 - ・うしとひる
- 語り依頼者
烏山語り会の
大喜さまほか2名

別紙のとおり、たくさんの方と民話に出会うことを目的に、参加された皆様は大変満足しておりました。(別紙アンケート結果・集計しています)

◎そのための語り研修会を開催した(間中一代先生の研修) 11月9日

○かぬま・民話かたり事業

日時：2019年2月24日(日) 午前10:30～12:00

場所：鹿沼市立図書館本館・2階・視聴覚室 (住所 鹿沼市文化橋町)

参加者：184名(児童20名)

語りの内容：さつきの里むかしがたり「ふるさとも民話めぐり」

地域名	民話の題名	語り手
板荷地区	あずきとぎ婆	栃内千恵子
花岡地区	三夜様	斎藤満子
上殿地区	オイノ弁天	吉沢明子
菊沢地区	にがみどう	田崎直子
茂呂地区	茶の子石	野澤博子

北犬飼地区	龍神の水	山口美江子
南押原地区	おだんご髻さん	温井由利子
西沢地区	北向き地蔵	荻原順子
下粕尾地区	録事法眼	大出由利子
酒野谷地区	とらご	森田万知子
日向地区	ぼうず狐	加藤美智子

11名が一話ずつ鹿沼市内の民話を語った。

口演中間にて遊び、うたあそび（童謡）の「ももたろう」をいれた。

○会のパンフレット作成事業

会のパンフレットを作成し、公共施設や口演会に配布しました。

公共施設名

鹿沼市立図書館（本館・ほんのす・栗野館）

鹿沼市内公民館

（情報センター・菊沢地区公民館・板荷公民館・西大芦公民館・清洲公民館・北押原公民館・南押原公民館・粕尾公民館・栗野公民館・加蘇地区公民館・ほか会員手持ち）

各20部

作成部数：2,000部

③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支 出		
	9/30 パンフレットデザイン&印刷代 部数2,000枚	27,000円
	11/22 研修講師謝礼金(間中先生)	10,000円
	11/28 印刷コピー代(資料)	10円
	12/4 おはなしバス用マスクing他	324円
	12/7 おはなしバス用飲料水(ペットボトル)	3,500円
	12/9 烏山語りの会・講師謝礼金	5,000円
	12/9 口演サポート指導者代	1,500円
	12/9 おはなしバスレンタカー代	50,000円
	12/11 おはなしバス当日の進行表スタッフ用 (コピー代@10×10枚)	100円
	12/12 写真プリント代12点	1,594円
	2/24 リソグラフ印刷用色上質紙 白・ピンク @3×400枚=1200円 (2/24用チラシ作成のため)	1,200円
	合 計	100,228円

事業報告画像

おはなしバス

2018年12月9日撮影



講師の烏山語りの会のみなさま



2019年2月24日撮影
民話かたりの祭り
「さつきの里むかしがたり」
鹿沼市立図書館本館2階

